

GEO WEEK NEWS

地理空間における人材、技術、変革

Talent, Tech, and Transformation in Geospatial

地理空間業界は、急速な技術進歩、アプリケーションの拡大、そして重大な労働力の課題を特徴とする変革期を迎えている。どのような問題があり、地理空間業界は、それらの課題にどう備えることができるか・・・

Geo Week 全体会議のパネル「地理空間の未来: イノベーション、課題、新たな機会への対応」では、Ronda Schrenk ([US Geospatial Intelligence Foundation](#))、Dan Bellissemo ([GIS Surveyors, Inc.](#))、Eric Bergholz ([Laserscanning Europe](#))、および Thomas Haun ([Turner Mining Group](#)) が中心となって取り上げられた。よりアクセスしやすいテクノロジー

スキャナーとセンサーはよりアクセスしやすくなり、ハードウェアは専門家以外の人でも使いやすくなり、最小限のトレーニングで済むスキャン技術が急増している。

労働力の課題と機会

最も差し迫った懸念は、で迫りくる労働力不足である。業界のリーダーたちは、高校レベルの学生の参加、包括的なトレーニング プログラムの開発、従来のエンジニアリングのバックグラウンドを超えた採用の拡大、地理空間技術の刺激的で革新的な側面を強調して新しい人材を引き付けるなどの積極的な解決策を提唱している。

将来の予測

成功するかどうかは、業界が才能ある人材を引きつけ、革新を受け入れ、技術の限界を押し広げ続ける能力にかかっている。非伝統的なプレーヤーがこの分野に参入することと、クラウドソーシングとテクノロジーの民主化をめぐる混乱です。これまではできなかったデータの収集が容易になる。技術開発ははるかに速く進む時代に入りつつあると感じています。過去 10 年間、ソフトウェアとセンサーの開発はゆっくりと進んできましたが、これからは劇的な変化が見られるでしょう。次のステップに到達するまでの時間が加速しています。

ガウススplatting：標準化の準備

Is Gaussian Splatting Ready for Standardization?

地理空間、AEC、3D 視覚化の分野全体で、おそらく過去 12 か月間の最大の話題はガウス スプラットでした。絶えず変化しているこの 3D 視覚化環境のコンテキスト内でも、まだ非常に新しい領域であるこの 3D シーンのレンダリング手法は、エンターテインメントから AEC まで、さまざまな業界の専門家の注目と想像力をかき立てている。

ガウス スプラットリングを紹介する最初の論文が発表されてからまだ 2 年も経っていませんが、すでにイノベーターや企業の間でこの技術を自社の製品に組み込む方法を実験し始めている企業の間で、早期導入が数多く見られる。

たとえば、[XGRIDS はスプラットリングを](#)ハンドヘルド レーザー スキャナーと融合させています。今後 1 年間で、このトレンドに加わる企業がさらに増えることはほぼ間違いないであろう。



関係する可能性のある業界の多さを考えると、すべてのセクターを標準に賛同させるには長い時間がかかるでしょうが、今後数年以内にその段階に到達する可能性が高く、その将来に備えておく必要がある。

XenoBike : Geo Week「今年の画期的製品」

[The XenoBike from XenomatiX Wins Geo Week's Game-Changing Product of the Year](#)

2 月初旬にコンテストで得票数上位 5 位の製品が発表され、その中で、ゲームチェンジャー製品第 1 位と評価された

ベルギーに拠点を置く XenomatiX は、NCAT と ICART の両方から IRI、わだち掘れ、生のプロファイル (IRI: ASTM 950 – E1926 – AASHTO 56 – Rutting: ASTM E1703 – EN 13036-8) の精度、再現性、効率性においてクラス 1 認定を受けて



いる。さまざまな速度でデータを収集し、歩行者がいるエリアで頻繁に必要な停止と発進があっても動作を続けます。86 センチメートルの幅でデータを収集し、アスファルト、コンクリート、未舗装道路、砂利、レンガなど、あらゆる舗装路で動作します。従来の車両に比べて速度が比較的遅いため、運転免許証は不要である。

LiDAR、GIS、リアリティキャプチャのユニークな用途

[Geo Week Highlights Unique Uses for Lidar, GIS, and Reality Capture](#)

3D 樹木マッピング: データ ソースの比較分析

インターネットベースの地理空間コンテンツを使用して、複雑な樹木マッピングする方法。LIDAR を使用すれば、葉の落ちた樹木でも詳細な樹木標高データを提供できる。

露天掘り鉱山の再生: UAS のケーススタディ

鉱山に関する情報を収集するために LiDAR と写真測量法を搭載したドローン をどのように導入したか、

スチームボート スキー場で GIS、ドローン、GPS を統合

積雪の深さを測定するためにライダーを搭載したドローンをどのように配備したか、GPS テクノロジーを人工降雪と整地作業にどのように取り入れたか、そしてさまざまな高度なデータ収集および分析テクノロジーを使用して国際的なスノーボード コンテストをうまく管理した方法。



地理空間技術の主要トレンド

[Beyond the Conference: Key Trends Shaping Geospatial Tech](#)

地理空間業界はかつてないほど急速に進化しており、LIDAR、デジタル ツイン、AI 駆動型マッピング、データ統合の進歩により、空間データの取得、分析、適用の方法が一変しています。このパネル ウェビナーでは、業界の専門家が最近の議論やイノベーションから得た重要なポイントを共有し、AEC、測量、GIS の変化を推進する最大のトレンドに関する洞察をおこなった。



OpenSpace : 建設業界向けコスト効率の高いリアリティ キャプチャ

[OpenSpace Brings Easy-to-Use, Cost-Effective Reality Capture to Construction Professionals](#)

いわゆる「垂直建設」で、建設の 95% が GPS が使えない屋内で行われている。約 400 ドルで購入できる 360° カメラで、何が起きているかを捉えることができます。プロセスは非常に簡単です。カメラをヘルメットに取り付け、スマートフォン (またはタブレット) で OpenSpace モバイル アプ



リを開き。現場を歩くだけ、低フレーム レートで 360° 画像を撮影し、クラウドにアップロードされて処理され、自動的に計画にピン留めされる。

Geo Week 2025、Drone-in-a-Box など

[This Week in Geospatial, 3D, and AEC News: Geo Week 2025, Drone-in-a-Box, Imagery](#)

Geo Week 2025 過去最高の来場者数を記録

3 日間のイベント期間中、コロラド州デンバーに 世界 49 国から 3,222 人の業界専門家が集まった。215 の企業や団体が出展。

新しいドローンインボックスソリューション

[DJI](#) は、[DJI Dock 3](#) の発売を発表した。分野として公共安全、緊急対応、インフラ対応を挙げており、これにより過酷な環境下で 24 時間 365 日の遠隔操作が可能になるとしている。

Esri が新しいコンテンツ ストアを発表

ArcGIS ユーザー向けに、「商用衛星画像の購入と統合のプロセスを簡素化する新しい Web アプリ」Content Store for ArcGIS を立ち上げた。

その他のニュース

- [Polycam](#) は今週、空間関連のキャリアを持つ人々向けの[新しいツール スイート](#)を発表した AI モデル ジェネレーター、シーン エディター、スペース モード、オブジェクト モード、AI 空間レポートなど、多数の新機能が含まれている。
- [ST マイクロエレクトロニクス](#)は、自律走行車とロボットの分野向けに、GNSS 受信機の新しいファミリーである Teseo VI ファミリーの[リリース](#)を発表しました。
- [Trimble](#) の SketchUp は市場をリードする 3D モデリング ソフトウェアの 1 つで、今週、同社は新しい視覚化機能と相互運用性機能を[発表しました](#)。新しいリリースでは、新しい環境照明オプションが追加され、他のツールとの移行がスムーズになっタ。
- 新たな提携が発表された。WISPR [Systems](#) が [InTerra](#) との[戦略的提携](#)を発表した。この契約は米国を拠点とするドローン企業 2 社を結び、前者の UAV と後者の SmarTarget システムを組み合わせた。
- 5 月には、地理空間の専門家を集めたカナダ最高の地理空間リーダーシップ カンファレンス、[GeoIgnite](#) がオタワで開催される。



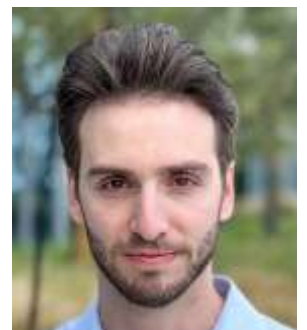
Michael Rubloff 氏の投稿

[Awards Season Splats](#)

[Michael Rubloff](#) [BAFTA](#) 賞受賞

Founder @ Radiancefields.com | NeRFs & Gaussian Splatting

[先週の BAFTA](#) 賞では、Radiance Fields が脚光を浴びた。Radiance Field の 表現である Gaussian Splatting により、受賞者やプレゼンターの 40 枚以上のキャプチャーが時間の中で凍りつきました。Harry [Nelder](#) と [Amity Studio](#) が主導し、Nelder の 16 台のカメラ リグが俳優や女優をリアルな 3D で凍らせました。彼らは、Postshot に加えて、Nelder 独自のクラウドベースの再構築ソフトウェアを組み合わせ使用した。



3DGS 関連記事 <https://lnkd.in/eP9TX5vd> 一部付録に (いかに役立つか、という内容で、どうしてそんな 3D 生成できるのか、という原理・アルゴリズムは紹介されていない・・・残念 記者)

新しいテクノロジー、リアリティ キャプチャ、業界の洞察

[Around the Geospatial, 3D, and AEC Industries: New Technologies, Reality Capture, Industry Insights](#)

インターネット上の最新の業界動向を網羅した最近の記事

Zoldi が [WISPR Systems](#)、[Vexcel](#)、[GeoCue](#)、[Trimble](#)、[RIEGL](#) からのリリースを含む、ショーで発表されたいくつかのテクノロジーを紹介している。

[記事全文はこちらから読みください >>](#)

ライカジオシステムズ

ここでは、[The Committee](#) の Chris Kercheval 氏による洞察を交えた記事とビデオのハイブリッド版をご紹介します。

ヴィム・ファン・ヴェーゲン / [GIM インターナショナル](#)

この記事では、ライダー センサーの進化、AI の影響、標準などに関する洞察を含む、その調査結果の一部を紹介。



<Latest Press Releases>

Precisely Data Link をローンチし、主要なデータプロバイダーのデータセットのシームレスな統合を実現

- [Precisely Launches Data Link, Enabling Seamless Integration of Datasets from Leading Data Providers](#)

Esri が急速に進化するモバイル GIS 分野に関する新刊を出版

- [Esri Publishes New Book on the Rapidly Evolving Mobile GIS Field](#)

Graphisoft がソロプラクティショナー向けの新しいサブスクリプションプラン「Archicad Studio」を開始

- [Graphisoft Launches New Subscription Plan for Solo Practitioners: Archicad Studio](#)

Trimble、ST マイクロエレクトロニクスと共同で、自動車および IoT 業界向けの高精度測位ソリューションを提供

- [Trimble Works with STMicroelectronics to Deliver Precise Positioning Solution for the Automotive and IoT Industries](#)

ST マイクロエレクトロニクス、車載および産業機器向けの高精度測位を実現する革新的な衛星ナビゲーション。

- [STMicroelectronics Releases Innovative Satellite Navigation Receiver to Democratize Precise Positioning for Automotive and Industrial Applications](#)

レシーバをリリース マーブルビジョンズ、NTT データ、パスコ、キャノンエレクトロニクスと共同で 3 次元地球観測衛星システムの開発を開始

- [Marble Visions Initiates Development of 3D Earth Observation Satellite System in Joint Venture with NTT DATA, PASCO, and Canon Electronics](#)

DJI Dock 3 は、24/7 リモート操作のための「箱の中のドローン」エンタープライズソリューションを提供します

- [DJI Dock 3 Delivers "Drone in a Box" Enterprise Solution For 24/7 Remote Operations](#)

Polycam は、物理空間のキャプチャ、調査、設計のためのコラボレーションツールを備えた新しいエンタープライズグレードのプラットフォームを発表

[Polycam Unveils New Enterprise-Grade Platform with Collaborative Tools for Capturing, Investigating, and Designing Physical Spaces](#)

DJI Dock 3 (Drone in a Box 箱入りドローン) 発表

極限環境に適応可能

極限条件での重要な操作のために設計された DJI Dock 3 は、50 °C から事前に加熱された状態であれば -30 °C までの極端な温度でシームレスに操作および充電できます。その設計は、優れた IP56 の防塵・防水性能で内部システムをさらに保護します。



幅広い設置場所、超長距離伝送

DJI Dock 3 は、緊急時の操作や長距離検査を柔軟にサポートできます。車載設置に最適化されており、水平キャリブレーションおよびクラウドベースのキャリブレーションをサポートしています。より高い効率のために、2 つのドックを 1 台の車両に同時に展開し、デュアルドローンローテーションを実現できます。

高性能 DJI Matrice 4D / DJI Matrice 4TD

新型ドローン DJI Matrice 4D / DJI Matrice 4TD は IP55 規格で、前進飛行時間 54 分、ホバリング時間 47 分を特徴としています。両方のドローンには、広角カメラ、中望遠カメラ、望遠カメラ、レーザー距離計が搭載されています。夜間撮影モードはフルカラーナイトビジョンを提供し、DJI Matrice 4TD は白黒ナイトビジョン用の追加 IR カットフィルタ機能を提供します。DJI RC Plus 2 Enterprise 送信機を使用すると、ドローンは単独で飛行するか、革新的なオンボード中継機能[2]を使用して運用範囲を拡張できます。

その他の注目機能

効率的なミッションのためのインテリジェントな操作: DJI FlightHub 2 は、ドックのリモート操作をさらに強化できます。飛行ルートが設定されると、インテリジェント設定によりドローンは自動的に車両や船舶を識別し、または赤外線温度異常を検出できます。新しいインテリジェントな変化検出機能により、エリアの変化も分析できます。

複雑な環境での正確な操作: 障害物検知モジュールを追加することで、DJI Matrice 4D / DJI Matrice 4TD に LiDAR とミリ波レーダー技術を搭載できます。

ジンバル追従スポットライト、リアルタイム音声スピーカー: DJI AL1 スポットライトは、被写体を最大 100 m 先まで照らすことができます。DJI AS1 スピーカーは、最大 300 m の距離まで音声を放送でき、1 m の距離で最大 114 デシベルの音量を出力できます。[3][4]

販売時期

販売価格、予約注文など詳細は [DJI Enterprise 正規販売代理店](#)までお問い合わせください。

DJI Enterprise 正規販売代理店: <https://www.dji.com/jp/where-to-buy/enterprise-dealers>

詳細はコチラ: <https://enterprise.dji.com/jp/dock-3>

お問合せ: <https://enterprise.dji.com/jp/dock-3#contact-us>

DJI Care Enterprise Plus と正規延長保証サービスでは、DJI Matrice 4D / 4TD シリーズの包括的な保護プランを提供し、さまざまな損傷をカバーします。提供内容は国や地域によって異なる場合があります。

SIGNIANT: ビッグデータ、大規模な地理空間データ処理ガイド

AEC 企業、ビジュアル キャプチャ ビジネス、ドローン サービス、測量士は、量ファイル転送ソリューションのためのアップグレードされたテクノロジーを要求する急速に進化する業界に属している。



COMMERCIAL UAV NEWS

ドローン対抗法案 準備

[Congress Ready for Another Run at Counter-Drone Legislation](#)

by [Aaron Karp](#)

下院法案（対 UAS 当局の安全保障、安全、再認可法や UAS による脅威から国土を守る法など）は、指定された州および地方当局が連邦機関の監督下で対 UAV 技術を試験できる対ドローンパイロットプログラムの創設を義務付けていた。



ドローン対策活動を行う権限を与えられた連邦政府機関が、無人機対策技術の試験運用を行っている州や地方自治体の数社を訓練し、監督することになる可能性が高い。昨年施行された FAA による全米空域システムで飛行するすべてのドローンに対する遠隔識別義務は、当局が悪質な行為者を追跡する上での前進とみられている。

Parsons 社：未来のドローン対抗技術

[Navigating the Future of Drone Security: Insights from Parsons' CUAS Innovations](#)

DroneArmor™ ソリューションと CUAS Center of Excellence により、UAS の脅威に先手を打つことができ、脅威を中和し、人命と資産を保護するカスタマイズされたソリューションを提供し、規制に準拠した UAS 運用の繁栄を実現できる。モデリングおよびシミュレーションツールである Parsons Digital Threat, Testing, and Training Environment(DT3E)を使用しており、システムと環境のデジタルツインを使用して、現実世界の脅威とシナリオに対するソリューションをモデル化しています。このプロセスにより、デプロイ前にアーキテクチャをテストし、ユーザ固有のシナリオのソリューションを検証する。



Commercial UAV Expo2025 発表募集

[Commercial UAV Expo 2025 Call for Speakers is Open!](#)

提出しても、議題に採用されることは保証されません。資産所有者のプレゼンター（データのエンド ユーザー）が優先されます。ベンダーは、資産所有者の顧客をプレゼンターまたは共同プレゼンターとして指名す

ることをお勧めします。製品プレゼンテーションはメイン プログラムには選ばれませんが、プレカンファレンス プログラムの出展者ショーケース セクションで出展企業が利用できます。

Tyto Robotics : プロペラの推力とトルクを正確に測定

[Tyto Robotics showcases advanced propeller balancing for enhanced UAV dynamics](#)

Tyto Robotics は、推力、トルク、RPM、電力、効率を正確に測定するように設計されたテスト機器とソフトウェアを備えており、ドローン設計者が推進システムを最適化できる。UAV のプロペラのアンバランスは、非効率性の問題だけではなく、空中の信頼性にも影響を及ぼします。プロペラのバランスを定期的に調整することで、今日の効率が向上し、今後何年も UAV の安全性と信頼性が維持される。



ウェビナー: Part 108 を待たなくても、やるべきことが多い

[Don't Wait for Part 108](#)

多くの人は、FAA が近々発表する、目視外飛行 (BVLOS) を標準化する規則「パート 108」が、商用ドローン業界に革命を起こすだろうと考えています。パート 108 は、より長時間、より高速、より効果的なドローン運用への道を開き、無人システムの真の可能性を解放するだろうと言われている。しかし、パート 108 のリリースを待つ間に、商用ドローン オペレーターが運用効率を高め、ROI を改善するために今すぐ実行できることはたくさんある。

例えば:



- 1 月に [American Robotics は FAA の BVLOS 免除を取得し](#)、集中遠隔操作センターから人や移動車両の上を飛行できるようになりました。これにより American Robotics は、公共の安全から重要なインフラの検査まで、さまざまな分野で顧客に優れたサービスを提供できるようになる。
- [Flock Safety とエルク グローブ警察署は、FAA の免除を取得し、ドローンによるファースト レスポンダー \(DFR\) システムを](#)、管轄区域全体で人間の監視なしで最大 400 フィートまで無制限に飛行できるようになりました。この免除は、サービス要請に対する平均応答時間が 85 秒のマルチドック、マルチドローンの DFR システムである Flock Aerodome の使用に対して認められた。
- [DEXA はノースカロライナ州ウィンストン・セーラムで FAA の BVLOS 免除を受け](#)、ドローン配送業務を拡大できるようになりました。ドローンの飛行が制限されていた地域での複雑な操作が可能になったことで、DEXA は新しい市場に参入し、より多くのサービスを提供できるようになる。
- [Titan Protection and Consulting は FAA の BVLOS 免除を付与され](#)、これにより同社は個別の場所固有の免除を必要とせずに米国全土で監視ドローンを飛行させることができる。この承認により、Titan は Autonomous Response and Patrol ドローンを配備して、死角やアクセスが困難な場所を含む、建物のあらゆるエリアをオンデマンドで監視、対応、検査できるようになる。

BVLOS 運用: 測量・地図業界への影響

[The Impact Flights Beyond the Visual Range of the Operator Will Have on the Mapping Industry](#)

パート 108 が施行されるまでには少なくとも 18 ~ 24 か月かかると思われるが、プロジェクトの精度に応じて、航空機を 1 時間以上飛行させて 1 日に数百エーカー、場合によっては数千エーカーをカバーできる規制環境で最高のパフォー



マンスを発揮できる無人航空機プラットフォームの調査が始まるであろう。

有人機と無人機が NAS を自由に制限なく共有できる世界が実現するまでには、まだ何年もかかるでしょうが、その時代は必ずやってくる。そして、次の 10 年以内に、両方のプラットフォームが完全に統合されるであろう。

ノースダコタ州の商用ドローン、MIT「自己位置特定」研究、医療提供 Federal Funding for UAV Integration in North Dakota, Self-Localizing Drones from MIT, Drones for Health Resources Delivery in Rural Kentucky

ノースダコタ州の新たに承認された 1,100 万ドルの立法予算は、同州での商用用途のドローン開発をさらに促進。

[Tech Briefs](#) は、困難な環境でのより効果的な自律航行につながる可能性のある MIT の新しい研究について報告している。

ケンタッキー州の田舎の住民に医療資源をドローン配達



<PRESS RELEASES>

CultiWise は、農家のコスト削減を提供するドローン由来のマップを追加

[CultiWise adds drone-derived maps offering cost savings for farmers](#)

Volatus Aerospace と Draganfly が協力関係を拡大し、価値の高い地理空間電力ユーティリティの顧客にサービスを提供

[Volatus Aerospace and Draganfly Expand Collaboration to Service High-Value Geospatial Power Utility Customers](#)

トランプ大統領のホワイトハウスに商業用ドローンの運用規制緩和を要請

- [Commercial Drone Alliance Calls on Trump White House to Expedite Deregulation of Commercial Drone Operations](#)

<訳者コメント>

- 1) 3DGS(Gaussian Splatting) の標準化 着手?
- 2) XenoBike ゼノバイク 常識的なれど、道路計測が抜群の性能なので人気
- 3) OpenSpace: 建築内部のリアリティキャプチャー 効率高い
- 4) Drone-in-a-Box 話題豊富 DJI も高性能、
- 5) BVLOS(目視外飛行) 認可普及で、関連ビジネスモデル、プレイヤー変わるであろう、

2025-03-08 SPARJ 河村幸二

<付録> 3DGS 関連記事 <https://lnkd.in/eP9TX5vd>

BAFTA のラディアン ス フィールド



マイケル・ラブロフ

2025 年 2 月 27 日



英国映画テレビ芸術アカデミーが毎年授与する BAFTA 賞は、映画、テレビ、ゲームにおける優れた作品を表彰するものです。エンターテインメント業界で最も名誉ある賞の 1 つとして認められている BAFTA は、長年にわたり画期的な作品を表彰する場となっています。2025 年の授賞式では、受賞者とともに、新たな技術革新がビジュアル メディアの未来を静かに示唆しました。

受賞者は賞を受け取った直後に、特別に設計された Radiance Field ステーションに入り、最先端の技術によって、彼らの姿がまるで生きているかのような 3D で永遠に記録されました。

Radiance Fields とそのさまざまな表現により、標準的な 2D 画像からシーンのリアルな 3D 再構築が作成されます。静止画像や録画を作成する従来の写真撮影やビデオ撮影とは異なり、Radiance Fields はインタラクティブなデジタル 3D モデルを再構築します。これにより、視聴者は動き回り、撮影された瞬間に物理的に存在していたかのように、複数の角度から撮影された瞬間を体験できます。

撮影作業は[ハリー・ネルダー](#)と[アミティ・スタジオ](#)が主導した。ネルダーは 16 台のカメラを使って最近の受賞者を撮影した。再構成ソフトウェアはネルダーが作成したクラウドベースのプラットフォームとポストショットを組み合わせたもので、今年後半にリリースされる予定だ。ネルダーはさらに再構成にガウス・スプラッチングとして知られる放射場法を利用した。BAFTA が最近投稿したすべての撮影をまとめたビデオはアミティ・スタジオが編集した。

人類は、ほぼ 2 世紀にわたって、写真、映画、デジタル記録などの 2D 形式に頼って歴史を記録してきました。しかし、Radiance Fields によって、私たちはイメージングの次の進化、つまり平面的な表現から、完全に探索可能な没入型の過去のアーカイブへの移行の基盤を築き始めています。

BAFTA のインスタレーションでは、受賞者を 3 次元空間に永遠に残し、従来の写真やビデオでは決して不可能だった方法で、受賞者の微妙な感情、衣装の複雑なディテール、その瞬間のエネルギーを

捉えることで、この可能性を実証しました。Radiance Fields は、見たものを何でも実物のようなディテールで再現できます。ここでは人間が対象ですが、現在 2D 画像やビデオを使用している場合はいつでも、Radiance Fields を使用できます。

テクノロジーが進化し続ける中、一つだけ確かなことがあります。それは、世界は平面のままではなくなるとことです。人生が完全な 3D で捉えられ、体験される未来への移行はすでに始まっています。
最近

プラットフォーム

3DGS をサポートする Viverse Worlds が発表されました

HTC は、ガウス スプラッティングで探索できる Viverse Worlds をリリースしました。

マイケル・ラブロフ

2025 年 3 月 6 日

プラットフォーム

Applied Intuition のニューラル シミュレーションが AV を前進させる

NeuralSim は、放射輝度フィールド表現のガウス スプラッティングを使用します。

マイケル・ラブロフ

2025 年 3 月 4 日

ニュース

マウンテンウェスト UAS 3DGS トーク

Radiance Field の専門家 David Romero 氏が講演します。

マイケル・ラブロフ

2025 年 2 月 28 日

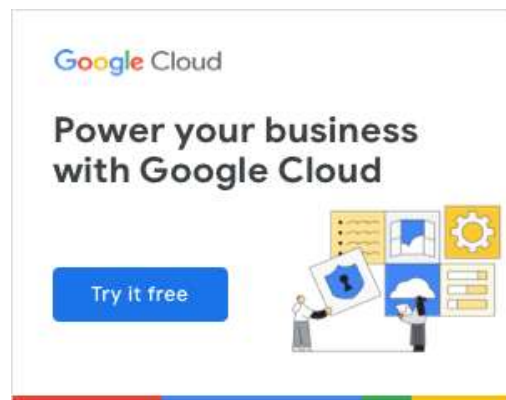
プラットフォーム

Scaniverse が正式なメタクエスト アプリをリリース

Niantic の Scaniverse は、Quest アプリをリリースするという以前の約束を果たしました。

マイケル・ラブロフ

2025 年 2 月 26 日



マイケル・ルブロフ著

マイケルは Radiancefields.com の創設者兼編集長です。

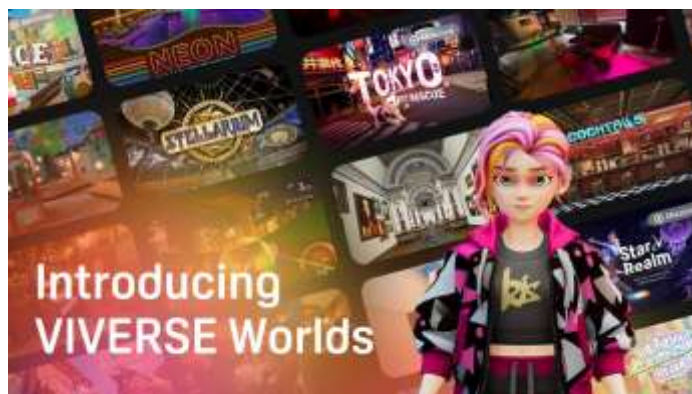
マイケル・ルブロフのその他の記事

プラットフォーム

3DGS をサポートする Viverse Worlds が発表されました

マイケル・ラブロフ

2025 年 3 月 6 日



プラットフォーム

Applied Intuition のニューラル シミュレーションが AV を前進させる

マイケル・ラブロフ

2025 年 3 月 4 日



ニュース

マウンテンウェスト UAS 3DGS トーク

マイケル・ラブロフ

2025 年 2 月 28 日



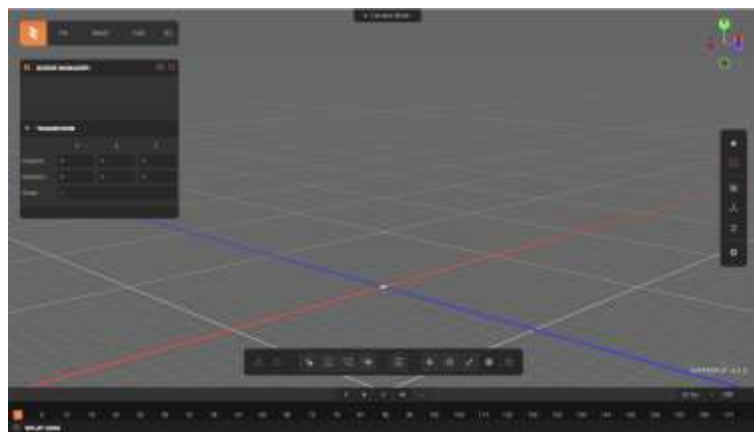
特集

プラットフォーム

SuperSplat がメジャーアップデートを発表: 2.0 が登場

マイケル・ラブロフ

2025 年 2 月 13 日



研究

ラディアントフォーム : ラドフォーム

マイケル・ラブロフ

2025 年 2 月 3 日

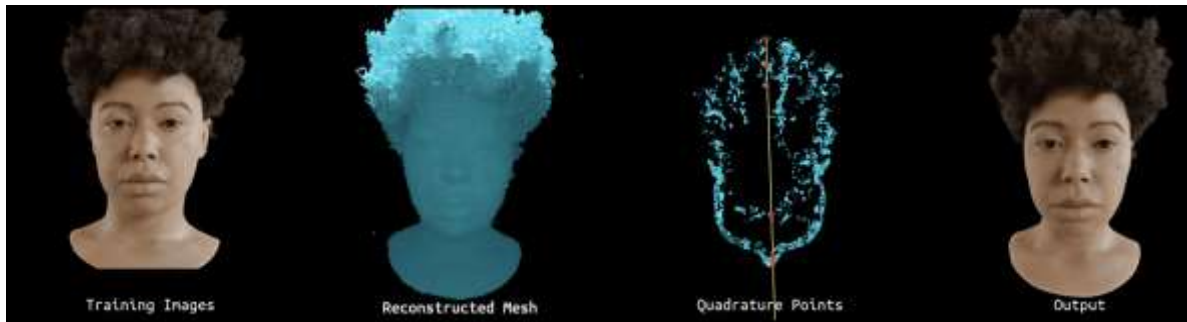


研究

直交フィールド

マイケル・ラブロフ

2024 年 9 月 11 日



RadianceFields.com

ニューラル放射輝度場 (NeRF) や 3D ガウス スプラッティングなどの放射輝度場ベースのテクノロジーのエキサイティングな進歩を文書化します。

以上